

職員提案制度について

新規事業や財源確保策について、若手職員から提案を引き出す仕組みを

【かじや 質問】職員が日常業務に携わる中で気づいたことや柔軟な発想を提案し、市政運営に取り入れていく仕組みとして、職員提案制度がありますが、提案内容を見るとその多くが職場の業務改善的な提案です。新規事業や財源確保策など市政の大きな課題解決につながる提案が、もっとあってもいいと感じます。現在の制度から一歩踏み込んで、政策的なテーマについて、人材育成の観点からも、若い世代の職員から提案を引き出すような仕組みを取り入れてはと思いますが、見解をお聞きします。

【総合政策部長 答弁】若い世代の職員が持つ発想や、情報通信技術の進展に即応するアイデアは、新規事業の立案や懸案課題の解決の貴重な資源になる可能性を持つものであることから、その可能性を引き出し、市政に反映させていく仕組みの構築が必要と考えています。

【かじや 意見】AIやブロックチェーン、5Gなど、情報通信技術が加速度的に進展する中、新技術を活用した課題解決策や新規事業、新たな財源確保策などは、若い世代の職員の尖った発想から生まれてくるものだと考えます。労働力人口の減少によるスマート自治体への転換が求められている中において、若い職員の発想を市政の課題解決に活かしていく仕組みづくりが必要です。今後、先進的な取り組みをしている自治体や民間事業者の事例も参考にしながら、現在の職員提案制度の枠に捉われない制度の構築を提言しました。また、次期行政改革プランでは、施設の一元管理に係る検討について、若手・中堅職員のプロジェクトチームで行っていきとされていますが、この他にも様々な行政課題等をテーマに、プロジェクトチームにおいて活発な検討を行っていきよう提言しました。

12月定例月議会の一般質問では以下の項目についても質問・提言を行いました

- ◆みどりのプラットフォームとの連携について
- ◆森林環境譲与税等を活用した木材利用の促進及び普及啓発について
- ◆市ホームページに掲載している各種申請書等の様式について
- ◆市立のデイサービスセンターあり方について
- ◆学校園施設開放事業の申請手続きについて



※各質問内容の詳細につきましては、かじや知宏のウェブサイトに掲載しています

かじや知宏 プロフィール

＜経歴＞昭和43年9月12日、枚方市に生まれる。阪保育所、殿山第二小学校、第三中学校、牧野高校、龍谷大学文学部社会科学科社会福祉学専攻を卒業。(株)報知新聞社での11年間の勤務を経て、かじや行政書士事務所開業。大阪府行政書士会綱紀委員、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事、中司宏事務所政策スタッフ等を歴任。＜現在＞枚方市議会議員(2期目)、かじや行政書士事務所代表、日本維新の会大阪府枚方市支部政調会長など。＜趣味＞読書、卓球、スポーツ観戦、神社仏閣巡り、観劇。

政策や活動の詳細はウェブサイトやSNSをご覧ください

かじや知宏

で 検索



tomohiro.kajiya



@kajiya\_tomohiro